



NICU入院児支援コーディネーターとは

近年、晩婚・晩産化等を背景にリスクの高い妊産婦や新生児は増加傾向にあります。NICUへの入院が必要な新生児も増えています。小児科医療の進歩に伴い助かる命は増えてきましたが、医療機器と医療的ケアを必要とする子どもも増え、そのような子どもが退院できないまま長期入院になっている現状があります。

私は山口県 NICU 入院児支援コーディネーターとして母子保健室に勤務しております。入院が長期になったお子さんの退院準備と一緒にさせていただいています。入院児支援コーディネーターという職種を初めて聞かれた方も多いため、少し紹介させていただきます。

NICU入院児支援コーディネーターとはNICU・GCUに入院している児について、その状態に応じた望ましい療育・療養環境への円滑な移行を図るため、①NICU等の状況把握 ②望ましい移行先との連携及び調整 ③在宅等への移行に際する個々の家族のニーズに合わせた支援プログラムの作成並びに医療・福祉的環境の調整及び支援 ④その他望ましい療育・療養環境への移行に必要な事項を担当する職員と定義されています。（東京都 NICU 入院児支援コーディネーターハンドブックより）

人工呼吸器や酸素療法、経管栄養などの医療的ケアが必要な子どもが自宅に帰るには様々なサポートが必要です。手厚い医療、看護を受けることのできた病院から、在宅で自ら医療的ケアを行って療養することにご家族は強い不安を抱いておられます。医療的ケアが自宅できちんとできるのか、急変したときはどうしたらよいのか、判断を間違うとこの子は命を落としてしまうのではないかと、ゆっくり休める時間はあるのか等、ご家族の不安は様々です。ご家族が安心して退院の日を迎え、お家での安定した生活が送れるように訪問看護ステーションや地域などとの連携を図っています。退院後は電話で相談を受けたり、外来受診時には自宅での生活に問題はないかなど、ご家族のお話を聞き、退院してからでも支援がとぎれることがないように心がけています。成人に比べ小児の在宅医療を支える仕組みは十分とはいえず、在宅生活は、ご家族の頑張りで何とか支えられているのが現状です。これから、小児を支える社会資源の充実や小児を受け入れてくれる訪問看護ステーションが増えてくれるように願っています。

退院した子どもたちは本当に素敵な笑顔を見せてくれます。その表情を見ると、やはり子どもにとってお家が一番だと痛感します。ご家族のそばで、一番身近な相談窓口となれるよう、これからも努力していきたいと思っています。

NICU 入院児支援コーディネーター 松本 ゆかり



「おぎゃー!!」 in 助産院 Sun

助産院でお産ができる方は、
※妊娠経過が正常な経産婦さんで、医師より助産院でのお産が可能と言われた方
※ご本人とご家族が、助産院でのお産を希望されている方
※当病院の産科外来を受診されている方です。

院内助産院でお産をされたお母さんにお話を伺いました。
今号は、2月に出産された 跳馬くんのお母さんです。

現在の心境は？
自分のペースで、やりたいように、させてもらってます。とても快適です。

「助産院で出産しよう!」と思われた理由は？
“フリースタイル”を1度経験してみたかったのと、アットホームな環境で家族と密着した出産を望んでいたからです。

助産院でお産をすることで不安な事がありましたか？
信頼できるスタッフの方ばかりだったので、不安はなかったです。何かあっても病院内ですぐ対応できるため、任せていました。

「いざ、お産!」から過ごされてみてどうでしたか？
立ったり座ったり四つ這いになったり...というのを想像してましたが、横になったらそのまま動けなくなり、1時間後に出産。結果的にはとても安産で、家族にも囲まれた良いお産ができました。夜中だったけど2才の長女もしっかり立ち会ってくれて、すごく嬉しかったです。

ご家族の反応は？

【ご主人】
2人目という事もあり、自分でも驚く程落ち着いていたなと思いました。スタッフの方が落ち着いていて、迅速な対応だったので、安心していただきたいと思います。

【お母様】
スタッフの方の対応や分娩までの準備、声かけ等がスムーズで、安心して見ていることができました。

【お姉ちゃん(2才長女)】
「ママ頑張ってー。」と手を握って、チュウもしてくれました。とても心強かったのを覚えています。

「助産院で出産を!」と検討中の皆さんへ、メッセージをお願いします。
アットホームな環境で出産・育児することができます。妊娠中からも顔なじみのあるスタッフに囲まれて過ごせるので、安心感もあると思います! ぜひ、家族皆に囲まれて良いお産をされて下さい♡



「跳馬 とうま」
跳ね馬の様に、元気に力強く育ってほしい。という願いを込めてつけました。

助産院Sunスタッフより
家族皆で跳馬くんを迎える事ができて、本当に良かったですね。私も こんなハッピーバースに立ち合わせていただき、ハッピーでした。ご家族で最も落ちついてたのは、お姉ちゃん なゆちゃんでした。一番のサポーターでした☆ (前田)

センター稼働状況

分娩数	68件	緊急帝王切開	11件
母体搬送	7件	NICU稼働率	72.9%
新生児搬送	0件	MFICU稼働率	94.0%

(平成29年2月)



編集後記

3月に入り、ぽかぽか陽気の日が増えてきましたね。先日、下松市の笠戸島に行ってきました。河津桜が満開で、青い海や空とのコントラストが見事でした! 夕日も絶景のようです。ドライブコースにいかがですか? (T.O.N.S.Y.M.K.H.)



周産期センター
キャラクター
マミー&メイ